

このころの「満州」が、朝鮮・台湾のような日本の植民地であったかのように誤解するおそれのある表現である。

**日本の
植民地政策**

植民地となった朝鮮では、学校で日本語や

日本の歴史・地理が教えられ、朝鮮固有の文化や歴史を教えることは禁じられました。また、多くの農民が土地をうばわれたため、小作人となる者や、日本や「満州」へ移住せざるをえない者もいました。

一方、1895年の下関条約で清から日本に割譲され、植民地となった台湾では、日本の企業が、主要な産業である砂糖業をとりしきるようになりました。また、「満州」では、1906年に南満州鉄道株式会社が発足し、植民地の中心的企業となりました。炭鉱や製鉄所などを経営し、鉄道を整備しました。

**朝鮮・台湾・
「満州」での政策**

植民地となった朝鮮では、学校で日本語や日本の歴史・地理が教えられ、朝鮮固有の文化や歴史を教えることは禁じられました。また、多くの農民が土地をうばわれたため、小作人となる者や、日本や「満州」へ移住せざるをえない者もいました。一方、清から日本に割譲され、植民地となった台湾では、日本の企業が、主要な産業である砂糖業をとりしきるようになりました。

また、「満州」では、1906年に南満州鉄道株式会社が発足し、大陸における中心的企業となりました。炭鉱や製鉄所などを経営し、鉄道を整備しました。